

7 GPSガイドスEZ-Guide250の活用事例

< 弟子屈町・畑作野菜経営 >

1 概要

- ・畑作物等の施肥・耕起作業の精度が向上、コストも削減

2 経営体及び経営の状況

- ・家族構成：本人、妻、後継者
- ・作物別作付面積：ばれいしょ 12ha、てんさい 11ha、秋まき小麦 7ha、
牧草 16ha、飼料用とうもろこし 4ha、
野菜 2.6ha(とうもろこし、たまねぎ、グリーンアスパラガス等)

3 トラクタ、作業機械、GPSガイドス等及び関連機械の整備状況

- ・GPSガイドスの機種：ニコン・トリンプル EZ-Guide250
- ・導入の動機、経過：興味を持ち、農機具メーカーのデモ機を使用してみて購入

4 GPSガイドス等の活用状況

- ・秋まき小麦の追肥作業及び牧草の土壌改良材散布、追肥作業

5 GPSガイドス等活用の効果

- ・畑の形や面積が記録され、作業状況も把握できること。
- ・ブロードキャストを使用した施肥作業中に、5 ha の大きなほ場のどこでも肥料をまき終わった場所がモニターで確認でき、肥料再投入後目印なしでその場に戻ることができる。
- ・このため、今まであった重複施肥や施肥ムラがなくなり、作業精度が向上し、肥料費も若干であるが節減することができた。
- ・ロータリーを使用した耕起作業では、特に変形で起伏があり見通しの悪い4 ha のほ場でも、まっすぐ走行することができ、作業記録により後の植え付け作業も直線に走行ができ楽になった。

6 GPSガイドス等活用上の問題点

- ・設定は簡単にできた。
- ・動作停止などのトラブルはないが、エンストでエンジン停止した時、再起動・データ読み込みに時間がかかる。
- ・測位のずれは10cm程度であり施肥作業上大きな問題はなかった。
- ・前年度に記録しておいたほ場のある地点にマーカー棒を設置しておき、翌年に場所を確認したら約1mずれていた。ただし、修正は苦にならないとのこと。

7 今後の課題など(可能性、展望、期待など)

- ・トラクタ本機への取付、配線に時間がかかるため固定したトラクタで使用している。
- ・安価であれば、複数のトラクタ、作業機で使いたい。